

編修趣意書

教育基本法との対照表

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-4	小学校	国語	国語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	国語 207/ 国語 208	こくご二上 たんぽぽ / こくご二下 赤とんぼ		

1. 編修の基本方針

「心を、動かす。言葉が、動かす。」

子どもたちは、予測困難な社会の中で、さまざまな変化に主体的・積極的に向き合い、他者と協働しながら課題を解決していくことが求められています。この教科書で学ぶ子どもたちが、未来社会を切りひらき、強く生きていくための言葉の力と豊かな感性を身につけられるよう、また、確実な力の習得を子どもたち自らが実感し、国語を学ぶ達成感や充実感につなげていけるように、次のことを基底において編修しました。

1 確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのかが、ひと目で分かる教科書です。

学習指導要領の「三つの柱」を視覚的に分かりやすく示しています。子どもたち自らが学習の見通しをもって、主体的に取り組むことができるようにしました。また、3領域の学習に関する基礎的・基本的技能が着実に身につくように、教材を学習過程に沿って構成しました。

2 言葉の豊かさ、論理的思考力と感性を培う

—— 言葉を増やししながら、言葉に親しんだり、言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

子どもたちが、言語文化や言葉に興味・関心をもてるよう、優れた作品・文章を多数用意するとともに、語彙を豊かにし、思考力を育て、自分の表現にいかしていけるような教材・資料を設けました。

3 国語の学びを、多方面へ広げ、深め、つなげる

—— 言葉を通して「学ぶこと」の楽しさと、人とつながる喜びを実感できる教科書です。

国語で学んだことを、国語の学習や教科書の中だけに閉じることなく、自分で整理したり、考えたり、発信したりすることで、身につけた力をさらに強化し、生きる力に大きく転化していけるようにしました。



1

確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのが、ひと目で分かる教科書です。

「がくしゅう」(手引き)：見通しとゴールを明確にして学習に取り組めるようにしました。

- 冒頭には、「単元目標(つきたい力)」と、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の目標を設けています。
- 学習への取り組み方が、子どもたち自身に明確に分かるように、上下二段組みに構造化しています。上段は、読みの課題を学習過程に沿って示し、下段は、上段の課題に取り組むための視点や、言語活動の型を示しています。
- 「ふりかえろう」は、3観点の評価に対応して、「知る(知識・技能)」「読む(思考・判断・表現)」「つなぐ(主体的に学習に取り組む態度)」の項目を立てました。
- 課題は、自分で考えたり、伝え合うことで共有できたりするようにしました。また、身につけた力を確認し、汎用的に活用することができる「たいせつ」と、読書に親しむ意欲を広げる「この本、読もう」を設けています。



2上「ふきのとう」(がくしゅう)

単元扉：「読むこと」教材への期待を高め、その教材で身につける力を確認できます。

「どんなことを学ぶのか」「どんな教材なのか」について、まず、この扉の場で確認します。「単元目標」「教材名」と、内容を予感させる「リード文(耕し)」で教材へ円滑にいきないます。「これまでの学習」において、既習の学習も合わせて確認できるため、つけた力を意識しながら新しい学習に臨むことができます。



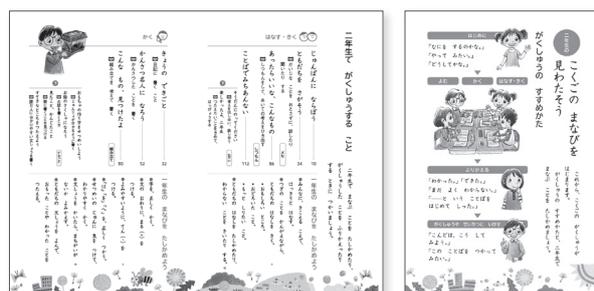
「読むこと」単元の扉



「読むこと」と「書くこと」
複合単元の扉

「こくごの まなびを 見わたそう」：国語学習の進め方と学習全体を見渡せます。

上下巻の冒頭は、「がくしゅうの すすめかた」「二年生で がくしゅうする こと」で構成しています。1年間で学習する「教材」「領域」「たいせつ」「学習用語」「前学年の学習」を一覧することができ、「どう学ぶのか」「何の力をつけるのか」を確認したり、学習が進む中でも、いつでも振り返ったりすることができる、学習の全体像を見渡すときに有効に活用できるページです。



2上「二年生の こくごの まなびを 見わたそう」(学習全体を見渡す場)

2

言葉の豊かさ、論理的思考力と感性を培う

—— 言葉を増やしながら、言葉に親しんだり、言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

思考や表現の助けとなる言葉・語彙にふれる場を数多く設定しました。

[きせつのことば]

- 年間4か所、季節を感じる言葉や詩歌を美しいイラストとともに掲載しています。自分たちの身の回りにある季節の言葉を見つけ、そこから表現活動につなげていきます。帯単元として学習することも可能です。

[ことばのたからばこ]

- 2年以上の各巻巻末に思考や表現の助けとなるよう、その学年に応じた語彙を「考えや気持ちをつたえることば」として提示するとともに、国語の学習でよく使われる大切な言葉を「がくしゅうに用いることば」として整理しています。



2上「春が いっぱい」(きせつのことば)



2上「ことばのたからばこ」



3

国語の学びを、多方面へ広げ、深め、つなげる

—— 言葉を通して「学ぶこと」そのものの楽しさと、人とつながる喜びを実感できる教科書です。

「国語」で学習したことを、他教科や日常生活の場面と結び付けていかせる場を特設しました。

[特設教材:じょうほう]

- 学習指導要領で新設された「情報の扱い方に関する事項」を分かりやすく教材化しました。情報を的確に理解し、表現につなげたり、自分の考えの形成にいかしていけるよう、2～6年に系統立てて設けました。

[他教科に関連する教材]

- 話題・題材について「生活科」「体育」「道徳」など、他教科との関連が図れるように選定しました。また、学級生活・学校生活や日常の生活場面などにも題材を設定し、子どもたちが必然性をもって教材に臨めるように工夫しました。



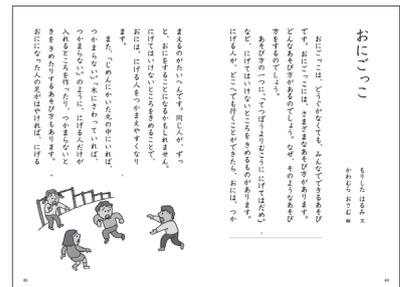
2上「じゅんじょ」
(情報を扱う教材)



2下「本でのしらべ方」
(情報を扱う教材)



2上「かんざつ名人になろう」
(生活科との関連)



2下「おにごっこ」
(体育との関連)

2. 対照表

[第 2 学 年]

図書 の 構 成 ・ 内 容		特 に 意 を 用 い た 点 や 特 色	該 当 箇 所
上 巻	言葉の特徴や使い方	言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記のきまりなどを知り、身につけることができます。【第一号】	58-59, 60-61, 62,77, 85,114, 130-131, 132
	情報の扱い方	情報に関する特設教材「じゅんじょ」や「メモをとる とき」を通して、情報の関係性について理解したり、情報の整理のしかたを身につけたりすることができます。【第一号】	51, 78-79
	我が国の言語文化	神話「いなばの 白うさぎ」の読み聞かせや、数え歌やいろは歌などを取り上げた「ことばあそびをしよう」を通して、我が国の文化を愛する心を育てるとともに、「きせつ の ことば」を通して、自然を大切にすることを育てます。【第四号】【第五号】	30-31, 38-40, 90-91, 127-129
		図書館での本の並べ方を探る「図書館たんけん」を通して、図書館の活用のしかたを知り、公共心を育てるとともに、図書館を活用しようとする態度を育てます。【第三号】 「お気に入りの本をしょうかいしよう」や読書教材「ミリーのすてきなぼうし」を通して、豊かな情操や、他の価値を認め尊重する態度を養います。【第一号】【第二号】	28-29, 92-109
	話すこと・聞くこと	声をかけ合って正しく並ぶ「じゅんばんに ならぼう」、絵場面から条件に合った特定の人物を探す「ともだちを さがそう」、対話によって考えを明確にしていこう「あったらいいな、こんなもの」、案内のしかたについて考える「ことばでみちあなない」において、友達どうしで交流し、質問をしたり考えや感想を伝えたりすることを通して、自他を尊重する心を育てます。【第三号】	10-11, 34-37, 86-89, 112-113
	書くこと	日常の出来事を日記に書く「きょうの できごと」、身近な動植物の観察記録を書く「かんざつ名人になろう」を通して、自己を認める心を育てるとともに、自主・自律の精神を育みます。【第二号】	32-33, 52-57
		街の中で見かけたものを紹介する文章を書く「こんな もの、見つけたよ」で、書いたものを友達と読み合う活動を通して、他者を尊重する心を育てます。【第三号】	80-85
	読むこと（説明的文章）	たんばぼの生態に関する「たんばぼの ちえ」や、獣医の仕事について説明した「どうぶつ園のじゅうい」を読むことを通して、さまざまな知識に触れるとともに、「職業」に触れることで社会の形成に参画する態度を育てます。【第一号】【第三号】	41-50, 115-126
	読むこと（文学的文章）	小さな魚の勇気や協力を描いた物語「スイミー」や、雨が降るときの様子をうたった詩「雨のうた」を読むことを通して、豊かな情操を育みます。【第一号】	63-76, 110-111
春の訪れを待つ自然の様子を描いた「ふきのとう」を読むことを通して、生命を尊び、自然を大切にすることを育てます。【第四号】		13-27	
付録	本編の学習と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。【第一号】	133-156	
下 巻	言葉の特徴や使い方	言葉や漢字に関する教材を通して、言葉の働きや文字・表記のきまりなどを知り、身につけることができます。また、言葉に関する特設単元「ようすをあらわすことば」を通して、様子を表すときのさまざまな表現方法を知り、適切に言葉を活用しようとする態度を育てます。【第一号】	27-28, 29-31, 50-51,54, 80-81,82, 94-97, 104-105
	情報の扱い方	情報に関する特設教材「本でのしらべ方」を通して、本を使った調査方法に関する知識を身につけることができます。【第一号】	93
	我が国の言語文化	民話「せかいーの話」の読み聞かせや、回文を取り上げた「ことばを楽しもう」を通して、我が国や郷土の文化を愛する心を育てるとともに、「きせつ のことば」を通して、自然を大切にすることを育てます。【第四号】【第五号】	32-33, 52-53, 76-77,106
	話すこと・聞くこと	互いの相談を聞き、解決策を見いだす「そうだんにのってください」や、1年間の思い出を振り返って紹介する「楽しかったよ、二年生」を通して、自他を尊重し、自律の精神を育みます。【第二号】	34-38, 100-103
	書くこと	物語の創作「お話のさくしゃになろう」、詩の創作「見たこと、かんじたこと」を通して、豊かな情操を育みます。【第一号】	71-75, 98-99
		手順に気をつけて書く「おもちゃの作り方をせつめいしよう」、友達に手紙を書く「すてきなところをつたえよう」を通して、他者への思いやりの心を育みます。【第二号】	46-49, 127-132
	読むこと（説明的文章）	おもちゃの作り方の手順を説明した「馬のおもちゃの作り方」を読むことを通して、創造性を育みます。【第二号】	39-45
		おにごっこさまざまな遊び方について説明した「おにごっこ」を読むことを通して、正義や平等を重んじる態度を養います。【第三号】	83-92
	読むこと（文学的文章）	詩「ねこのこ/おとのはなびら/はんたいことば」を読むことを通して、豊かな情操を育みます。【第一号】	78-79
二人の人物の友情を描いた「お手紙」や、姉妹の関係を描いた「わたしはおねえさん」を読むことを通して、他者を思いやる心や自律の精神を育てます。【第二号】【第三号】		11-26, 55-70	
少年と馬の交流を描いた「スーホの白い馬」を読むことを通して、生命を尊ぶ態度を育てます。【第四号】		107-126	
付録	本編の学習と関連して扱うことができる内容を用意し、自主的な学習にも役立てられるようにしました。【第一号】	133-164	

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学習上の参考に供するための資料

- 教科書の中で、「二次元コード」が示された場所には、学習の参考として、内容をさらに深めたり、興味・関心を高めたりすることにつながる資料を豊富に収めました。

生涯にわたる読書に親しむ工夫

- 教科書での学習と関連させながら、さまざまな角度から本に親しむ態度を広げられるよう、読書単元「本はともだち」を設定しました。図書館や展示コーナーのイラストを豊富に掲載し、読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基盤となるように工夫しています。
- 本を紹介するための「この本、読もう」や巻末付録「本のせかいを広げよう」では、表紙写真を掲載し、子どもたちの興味・関心を高められるように工夫しました。読んだ本をチェックできるようにし、読後の達成感にもつながります。

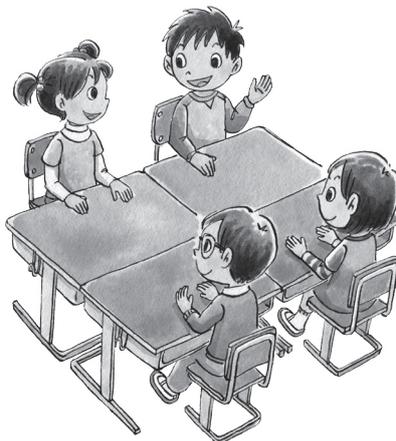
漢字学習への配慮

- 低学年では、全ての音訓について、提出されるたびに学べるように配慮しています。文脈の中で自然に学ぶことができるため、子どもたちの漢字学習の負担を軽減します。

特別支援教育への配慮

教科書のユニバーサルデザイン、カラーユニバーサルデザイン（色覚特性）と、学習上支援が必要な児童のために、特に次の観点に配慮しています。

- 教科書の全てのページについて、専門家の校閲を受けています。
- 本文には、教科書のために特にデザインした自社作成の教科書体を用いています。この書体は、読みやすいのと同時に、書き文字に近いため、書いて学ぶ低学年の子どもたちに正しい字形を意識させることができます。
- 特に、「文字の形を意識して読み、物事を理解する部分大きい」低学年には、書体を通常より太くしたものを使用し、「見やすさ」を重視しています。一文字一文字を認識しやすくしています。
- 全学年を通して、図書紹介のページのように文字がやや小さい提出の教材には、読みやすさを強調して作られたUD（ユニバーサルデザイン）フォントを使用しています。
- 紙面のデザインは、子どもたちの学習のしにくさにつながらないように、特に配色や色調に注意をはらったり、文字と写真、写真と写真との区別が明確になるよう、罫線を入れたりしています。



編修趣意書

学習指導要領との対照表、担当授業時数

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-4	小学校	国語	国語	第2学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
38 光村	国語 207/ 国語 208	こくご二上 たんぽぽ / こくご二下 赤とんぼ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

1 確かな国語の力を育む

—— 何を、何のために、どう学ぶのが、ひと目で分かる教科書です。

学年冒頭の構成

【こくごのまなびを見わたそう】

- 2年生の国語学習全体を確認し、見通しをもつ場として、上下巻に位置づけています。
- 「がくしゅうのすすめかた」によって学習のしかたを確認し、「2年生でがくしゅうすること」で領域ごとの教材とつきたい力を確認することができます。
- この場では、教材でつきたい力を確認する「たいせつ」と、そこで着目させたい「学習用語」を一覧できます。

2上「2年生のこくごのまなびを見わたそう」



【ことばのじゅんぴうんどう】

- 学年初めの緊張する心と体を解きほぐすための教材です。道具を準備する必要はなく、学級全体で対話をしながら、みんなで学ぶ楽しさを知ることができます。

【つづけてみよう】

- 帯単位として活用することができます。継続的に表現活動を行うことで、書くことへの抵抗感を減らしていきます。



コミュニケーションの素地を作る活動です。

2上「じゅんぱんにならぼう」
(ことばのじゅんぴうんどう)



上巻で促した活動は、下巻でも同じようによびかけて、継続した表現活動につなげます。

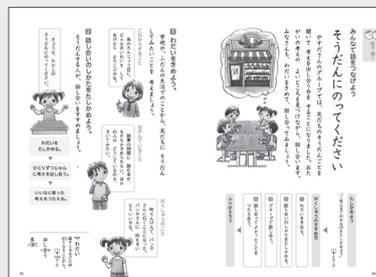
2上「つづけてみよう」

「思考力, 判断力, 表現力等」の単元構成



「話すこと・聞くこと」単元

- ・子どもたちの発達段階, 習熟度, 必然性を考慮して, 多彩な言語活動を系統的に位置づけています。
- ・主たる学習機会は年間6か所の単元で, 「言葉の準備運動(ウォームアップ)」「耳を傾ける(受けて返す・聞く)」「対話のレッスン」「話し合う」「声を届ける(話す)」の学習について集中的に行うよう工夫しています。
- ・2年生の単元冒頭は, 既習の学習を確認する「たしかめよう」→「がくしゅうのすすめ方」→評価の観点「ふりかえろう」という構成です。汎用的能力につながる場として, 「たいせつ」を設けています。

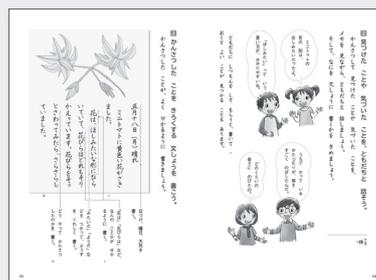


2下「そうだんにのってください」



「書くこと」単元

- ・子どもたちの発達段階, 習熟度, 必然性を考慮して, 多彩な言語活動を系統的に位置づけています。また, 情報の扱いに関する特設教材「じょうほう」を新設しました。
- ・主たる学習機会は, 年間7か所の単元で, 「日記」「観察記録」「報告」などの学習を集中的に行うよう工夫しています。
- ・2年生の単元冒頭は, 既習の学習を確認する「たしかめよう」→「がくしゅうのすすめ方」→評価の観点「ふりかえろう」という構成です。汎用的能力につながる場として, 「たいせつ」を設けています。



2上「かんざつ名人に なるう」



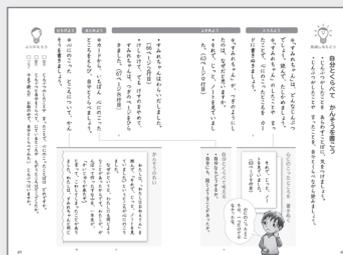
「読むこと」単元

- ・単元扉により, 子どもたちが学習の目的をもって「読むこと」の学習に臨めるようにしています。
- ・「がくしゅう」(手引き)で設定した課題は, 学習指導要領の「思考力, 判断力, 表現力等」の内容に沿い, 学習過程を意識して学ぶことで確実な定着を旨としています。言語活動の方法と, 内容理解につなげていく画期的な二段組み構造です。また, 身につける力を確認し, 汎用的能力につながる場として「たいせつ」を設けています。
- ・文学的文章は, 生命の尊さや人間尊重の精神を基本に, 人権教育にも十分配慮し, 多様なテーマの作品を偏りなく選んでいます。
- ・説明的文章は, 人間尊重と自然尊重を基本とし, 学ぶ意欲を喚起する多様なテーマの話題や題材を選んでいます。
- ・絵や写真と文章を対応させて読んだり, 表などを活用して考えを形成したりする学習ができるよう工夫しています。



豊かに読み, 確かな力をつける。それを螺旋的に繰り返していきます。

2下
「わたしは
おねえさん」



2下
「わたしは
おねえさん」
(がくしゅう)

2

言葉の豊かさ、論理的思考力と感性を培う

—— 言葉を増やしなが、言葉に親しんだり、言葉を使って考えたりする力を育てる教科書です。

[言葉の特徴や使い方・漢字に関する教材]

- 言葉に関する教材を上下巻に偏りなく配し、言葉の力が確実に定着するように教材を構成しています。
- 漢字教材では、楽しみながら知識を身につけるようにしました。年間5か所の「かん字のひろば」は、前学年の漢字を集中的に学習し、定着を図る場としています。
- 語彙に関心をもち、多くの言葉を獲得できるように、上下巻巻末に「ことばのたからばこ」を設定しました。

[読書活動単元]

- 読書に親しみ、いろいろな本があることを知るための教材として、読書単元「本はともだち」を設けました。学校図書館のイラストを配し、積極的に利用する意欲を高めます。紹介図書は、子どもたちが手にしやすいものを選定しています。

[我が国の言語文化を学ぶ教材]

- 長く語り継がれてきた話の読み聞かせを聞く「聞いてたのしもう」(神話、昔話)を設けました。語りの文化に触れ、作品世界を豊かに想像する力につながります。
- 日本の四季の美しさにふれ、身の回りの季節を感じ、それを表す言葉の豊かさに気づくことを意図して、年間に4か所「きせつのことば」を設けています。



2上「図書館たんけん」



2下「せかいーの話」
(昔話の読み聞かせ)



2上「夏が いっぱい」
(きせつのことば)

自分で見つけた季節の言葉を使って「書くこと」の活動につなげていきます。

3

国語の学びを、多方面へ広げ、深め、つなげる

—— 言葉を通して「学ぶこと」の楽しさと、人とつながる喜びを実感できる教科書です。

[情報の扱いに関する教材]

- 相手の考えを理解したり自分の考えを伝えるための情報の扱いに関する教材「じょうほう」を学年に3か所設け、共通と相違や、事柄の順序に関して学べるようになっています。

[付録・学習を深め広げる資料]

- 『「たいせつ」のまとめ』『本のせかいを広げよう』『げんこう用紙のつかい方』など、他教科や日常生活に活用することができる付録を充実させました。また、本編教材には随所に「関連マーク」を示し、教材の検索性やリンク性を高めました。
- 教科書の中に「二次元コード」が示してある場所には、子どもたちが学習を進めるときの参考となり、さらに教材に興味・関心をもって、深い学びにつなげていくことができる資料を収めています。

[学ぶことの楽しさに関する教材]

- 上巻冒頭に、「ことばのじゅんびうんどう」を設けました。学年が始まるときの子どもたちの心と体の緊張を解きほぐす教材です。友達や先生と言葉を通じてコミュニケーションを図り、円滑な授業びらきを推進します。

教科書の特徴

編集上の留意点	
1 教育基本法・学習指導要領への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教育基本法や学校教育法の理念の踏まえ、特に次の点に意を用いました。 <ul style="list-style-type: none"> ① 国語力及び学習の基盤的能力の育成、② コミュニケーション能力の育成、③ 豊かな心の育成、 ④ 情報社会を生き抜く力の育成、⑤ 社会の変化に対応する能力の育成 ◆ 学習指導要領の方向性に対応し、特に次の点で工夫し配慮しました。 <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的・基本的な知識・技能と活用力を身につける、② 論理的に思考し、表現する能力を養う、③ 豊かな情操と道徳心を養う、 ④ 伝統的な言語文化を尊重し、国語と郷土を愛する心を育成する、⑤ 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、自主・自立の精神を養う、 ⑥ 読書に親しみ、生涯にわたって充実した読書生活を送るための基礎を養う、⑦ 社会の形成者たる児童を育成する
2 内容と系統	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習指導要領の各学年の目標及び内容がもれなく指導できるよう、教材を選定・作成しています。 ◆ 各単元・教材のねらいを明確にし、基礎的・基本的な内容が着実に身につけられるよう、学年内・学年間を見通して系統的に位置づけています。 ◆ 学習指導要領に示された言語活動例が、低・中・高それぞれの段階でもれなく扱えるように、教材を作成・配置しています。
3 配分・配列	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 教科書全体を「単元」「コラム」「特設単元」で構成し、知識・技能の習得・活用・探究が繰り返されながら着実に身につけられるようにしています。 ◆ 発達段階と学習の持続性を考慮し、単元数に配慮して構成しています。 ◆ 3学期制のどちらにも対応するよう、単元・教材数・領域のバランスを工夫しています。 ◆ 各学年巻末に、本単元の補充学習・発展学習に資するよう、資料となる教材を掲載しています。
4 教材の選定	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各学年を通じて、発達段階を考慮するとともに、児童の学習意欲を喚起すること、また、社会の形成者としての児童を育成するよう、その道徳的心情や道徳的判断力が育つことに配慮して、内容・題材を選定しています。 【入門期】(1年) <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園・保育所との円滑な連携を図れるよう配慮し、児童が学校生活に慣れるとともに、その学習意欲を大事にすることを考えて教材を選定しました。 【話すこと・聞くこと】 <ul style="list-style-type: none"> 児童の日常生活、学校生活、学習場面に取材し、「話す・聞く・話し合う」ことの意義が感じられるように、発達段階に即して題材を選んでいます。また、学習活動からその後の振り返りの場に至るまで意図的・計画的に設定しています。 【書くこと】 <ul style="list-style-type: none"> 相手と目的の明確な話題・題材と児童がイメージしやすい場を設定することで、書く必要性和必然性を感じ、書く意欲が喚起されるよう工夫しています。また、取材から叙述までの表現過程を児童の実態に合わせて具体的に図示するなど、分かりやすく示しています。 【読むこと】 <ul style="list-style-type: none"> 児童の言語環境と発達段階に応じて、言葉の美しさが感得できる教材、家族や友人など他者への思いやりを育てる教材、他教科の内容に関連する教材、もの見方・考え方を広げたり深めたりできる教材などを幅広く選定しています。 【言葉の特徴や使いに関する事項】 <ul style="list-style-type: none"> 児童の言語生活や既習教材から素材を取り上げ、活動を通して知識を身につけるとともに、言葉に関する興味・関心が深まるよう、教材化を工夫しています。 【情報の扱いに関する事項】 <ul style="list-style-type: none"> 話や文章に含まれている情報を取り出して整理したり、その関係を捉えたりする能力を身につけられるよう、情報の扱い方に特化した教材「情報」を設けました。 【我が国の言語文化に関する事項】 <ul style="list-style-type: none"> 先人の遺産としての言語作品を多く取り上げ、生涯の宝として身につけられるようにしました。
5 地域性への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 話題・題材は、農村漁村・都市などの地域的な偏りを避けるとともに、国際的視野が育つように、バランスのとれた構成になっています。
6 他教科等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 他教科などとの関連が図れるように、話題・題材の選定において工夫しています。 【生活】1・2年の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の題材、「季節の言葉」 【体育】「おにごっこ」(2年下) ◆ 学習活動面においても、他教科の学習で活用できるよう配慮しています。 観察記録文を書く(2年上)
7 文字提出・表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 1年では、6月中旬までに平仮名を全て提出し、夏休み前までは習熟を図る期間としています。漢字・片仮名は9月から提出して、無理なく学習できるよう配慮しています。 ◆ 漢字学習は言葉の学習であると捉え、前学年漢字及び各学年配当漢字を全て本文中に提出しています。 ◆ 新出漢字は当該ページ欄外に語として抽出し、読みの負担を軽減しています。また1教材での提出数を制限し、過重な負担とならないよう配慮しています。 ◆ 文中に平仮名が多い2年生までは、分かち書きを採用しています。ただし、第2学年中に徐々に通常の文章に読み慣れるよう、「文節による分かち書き—2・3文節まとめた分かち書き—通常の分ちのない書き方」へと段階的に移行しています。
8 挿絵・写真・図・グラフなど	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習内容の理解を助け、イメージを豊かに広げる挿絵・写真を適所に掲げています。また、点字見本のページ(5年)のように、実際に触れて参考にする資料も設けています。 ◆ 「話す・聞く」「書く」教材や、「読む」教材の手引きに、種々の表、マップなどを配し、考えを形成したりまとめたりする技法として活用できるように工夫しています。
9 製本・印刷・活字など	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 製本は堅牢で、印刷は鮮明で読みやすく、特に、色覚特性に対応するために、配色・色調にも配慮しています。 ◆ 原料や製法についても、十分に配慮しました。環境に負荷の少ない用紙、植物油インキを用いています。 ◆ 本文には、教科書のために特にデザインした自社作成の教科書体を用いています。読みやすいだけでなく、書き文字に近いため、正しい字形を意識させることができ、文字指導に効果的です。 ◆ 特に1・2年では、文字量も少なく、一字一字を確める段階であることに配慮し、通常よりも太い書体を使用しています。 ◆ 巻末付録「本の世界を広げよう」では、教科書体に対応した読みやすいユニバーサルデザイン書体を使用しています。
10 特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学習上支援が必要な児童のために、またユニバーサルデザインに対応した教科書作りという観点から、特に以下の点に配慮しています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報のまとまりが認識しやすいように、用語解説や覚えておきたい知識などはマークを付して示す。 ・ また、写真と写真の間を空けたり線で囲んだりして明確に区別できるようにする。(1年上「うみの かくれんぼ」など) ・ 色覚特性に配慮して、色による識別に頼ることなく、形で識別できるように作成する。また、色を問いつける学習活動を設定しない。 ・ 説明の際は、色以外の情報も合わせて示すなどして教材化を図る。(2年上「ともだちを さがそう」)
11 幼稚園・保育所との連携、中学校との連携	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校生活への不安をなくし、明るくスタートできるよう、1年の第一教材においては、児童が友達や先生と交流する場面を取り上げました。続く「さあ はじめよう」には、幼稚園・保育所の体験をいかしながら、小学校での学びの基本的な姿勢を行う教材を位置づけています。 ◆ 5・6年は、学年1冊としています。高学年としての自覚を高め、中学校入学時の環境変化に適応するための配慮です。 ◆ 6年最後は、卒業単元として「卒業するみなさんへ」、小学校で身につけた力を確認できる「中学校へつなげよう」を位置づけました。
12 その他の配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> 【言語活動】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ つけたい力(指導事項)と言語活動を単元冒頭に掲げて、児童が目的と見通しをもって学習に臨めるようにし、習得と活用とが滑らかに行えるよう課題を設定するとともに、ここで身につけた力や考えたことが他教科や日常生活でいかせるよう配慮しました。 【学習過程の重視】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「思考力、判断力、表現力等」の各領域において、学習過程を明確にした教材を設定しました。また、学習過程の中で、自分の考えを形成し、それを他者と共有することを重視しました。 【読書】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 読書に対する意欲を高め、読書の幅を広げ、読書を通して思考力や想像力を養うことを目指して、次のような工夫をしています。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 特設単元「本は友だち」に、多様なジャンルの作品を位置づけました。 ・ 各「読むこと」単元の手引き及び各巻末に、学年に適した本の紹介をまとめて、表紙写真とともに提示しました。 ・ 紹介する本は、人権教育の観点からも吟味・検討し、選定しました。 【語彙を豊かに】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 2年以上の各学年4か所に「季節の言葉」を設け、日本人の季節感を育んできたさまざまな伝統行事や風物などを言葉とともに取り上げると同時に、それらを題材にした韻文に触れることで言語感覚を豊かに育成する工夫をしています。 【言葉の学習】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各学年に言葉そのものを対象化して知識を得たり考えたりする教材を位置づけ、児童が言葉の世界の豊かさを体験するとともに、言葉の自覚的な使い手として育つよう配慮しています。 【漢字の習得】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 漢字学習に関する教材を随所に設け、楽しみながら漢字の知識が身につくようにしています。また、2年は年間5か所、3年以上は年間6か所に「漢字の広場」を設け、前学年で学んだ漢字を集中的に学習し、文や文章の中で使える力となるよう工夫しています。

2. 対照表

[第 2 学 年]

図書 の 構 成 ・ 内 容		学 習 指 導 要 領 の 内 容					該 当 箇 所	配 当 時 数	
		知 識 及 び 技 能	思 考 力 , 判 断 力 , 表 現 力 等			取 り 上 げ る 題 材 に つ い て の 観 点			
			A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	B 書 く こ と	C 読 む こ と				
上 巻	じゅんばんに ならぼう	(1) ア (2) ア	(1) エ			(イ) 伝え合う力	10-11	1	
	ふきのとう	(1) ク			(1) イ (2) イ	(イ) 想像力 (キ) 自然を愛する心	13-27	9	
	図書館たんけん	(3) エ				(ア) 国語に対する関心	28-29	1	
	春が いっぱい	(1) ア		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	30-31	2	
	きょうの できごと	(1) ア・オ		(1) ア・ウ・エ (2) イ		(オ) 生活を明るくする意志	32-33	4	
	ともだちを さがそう	(1) イ	(1) エ (2) ア			(ウ) 適切に判断する能力や態度	34-37	4	
	いなばの 白うさぎ	(1) ア (3) ア				(ケ) 日本人としての自覚	38-40	2	
	たんぼぼの ちえ [じょうほう] じゅんじょ	(1) ク (2) ア			(1) ア・ウ (2) ア	(工) 科学的、論理的に物事を捉える力 (キ) 自然を愛する心	41-51	10	
	かんさつ名人になろう	(1) オ		(1) ア・イ・オ (2) ア		(キ) 自然を愛する心	52-57	10	
	同じ ぶぶんをもつ かん字	(1) エ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	58-59	2	
	うれしい ことば	(1) ア		(1) ア・ウ		(オ) 生活を明るくする意志	60-61	2	
	かん字の ひろば①	(1) ウ・エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	62	2	
	スイミー	(1) オ			(1) イ・エ (2) イ	(オ) 強く正しく生きる意志	63-76	9	
	かたかなの ひろば	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	77	2	
	[じょうほう] メモをとる とき	(1) ア		(1) ア		(ウ) 適切に判断する能力	78-79	3	
	こんな もの、見つけたよ [コラム] 丸、点、かき	(1) ア・ウ		(1) イ・ウ・オ (2) ア		(イ) 伝え合う力 (ウ) 適切に判断する能力や態度	80-85	10	
	あったらいいな、こんなもの	(1) ア	(1) ア・ウ・エ (2) ア			(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	86-89	8	
	夏がいっぱい	(1) ア		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	90-91	2	
	お気に入りの本をしようかいしよう ミリーのすてきなぼうし	(3) エ			(1) カ (2) イ	(イ) 想像力 (オ) 生活を明るくする意志	92-109	6	
	雨のうた	(1) オ・ク			(1) カ (2) イ	(イ) 想像力、言語感覚	110-111	2	
	ことばでみちあんない	(1) ア・オ・キ (2) ア	(1) イ・エ (2) ア			(イ) 思考力 (ウ) 適切に判断する能力	112-113	3	
	かん字のひろば②	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	114	2	
	どうぶつ国のじゅうい	(1) ア・カ (2) ア			(1) ア・オ・カ (2) ア	(工) 視野を広げる (カ) 生命の尊重	115-126	12	
	ことばあそびをしよう	(1) オ (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	127-128	2	
	なかまのことばとかん字	(1) オ				(ア) 国語に対する関心	130-131	2	
	かん字のひろば③	(1) ウ・エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	132	2	
下 巻	お手紙	(1) オ			(1) エ・オ・カ (2) イ	(カ) 他人を思いやる心	11-26	12	
	主語と述語に 気をつけよう	(1) カ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	27-28	2	
	かん字の読み方	(1) エ				(ア) 国語に対する関心	29-31	2	
	秋がいっぱい	(1) ア		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	32-33	2	
	そうだんにのってください	(1) ア (2) ア	(1) ア・オ (2) イ			(カ) 他人を思いやる心	34-38	8	
	馬のおもちゃの作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう	(1) オ (2) ア		(1) イ・ウ・エ (2) ア	(1) ア (2) ア	(工) 論理的に物事を捉える力 (オ) 生活を明るくする意志	39-49	14	
	かたかなで書くことば	(1) ウ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	50-51	2	
	せかいーの話	(3) ア			(1) イ・エ・オ (2) イ	(ク) 我が国の文化に対する理解と愛情	52-53	1	
	かん字の広場④	(1) エ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	54	2	
	わたしはおねえさん	(1) オ			(1) イ・エ・オ (2) イ	(オ) 強く正しく生きる意志	55-70	10	
	お話のさくしゃになろう	(1) オ		(1) イ・エ・オ (2) ウ		(イ) 想像力	71-75	10	
	冬がいっぱい	(1) ア		(1) ア (2) ア		(キ) 自然を愛する心	76-77	2	
	ねこのこ／おとのはなびら／ はんたいことば	(1) ク			(1) イ・カ	(イ) 想像力、言語感覚	78-79	2	
	にたいみのことば、はんたいの いみのことば	(1) オ				(ア) 国語に対する関心	80-81	2	
	かん字の広場⑤	(1) エ・カ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心	82	2	
	おにごっこ [じょうほう] 本でのしらべ方	(1) ア (3) エ			(1) ウ・カ (2) ウ	(ウ) 公正かつ適切に判断する能力や態度 (カ) 他人を思いやる心	83-93	12	
	ようすをあらわすことば	(1) ア・オ		(1) ウ		(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	94-97	4	
	見たこと、かんじたこと	(1) オ		(1) ア・オ (2) ウ		(イ) 言語感覚	98-99	6	
	楽しかったよ、二年生	(1) ア・イ・オ・キ	(1) ア・イ・ウ (2) ア			(オ) 生活を明るくする意志	100-103	8	
	カンジーはかせの犬はつめい	(1) エ				(ア) 国語に対する関心	104-105	2	
	ことばを楽しもう	(1) オ (3) イ				(ア) 国語に対する関心 (イ) 言語感覚	106	1	
	スーホの白い馬	(1) オ			(1) イ・エ・オ・カ (2) イ	(カ) 生命の尊重 (コ) 世界の風土の理解	107-126	14	
	すてきなどころをつたえよう	(1) ウ・カ・キ		(1) ア・イ・ウ・エ (2) イ		(オ) 生活を明るくする意志	127-132	12	
	合計時数							246	